

有明清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
1	1号炉	休炉	R5.4.15	6:23	R5.4.15	11:16	R5.8.9	17:01	R5.8.11	7:36	1号炉給じんフィーダ周辺の焼却炉壁から水蒸気が出ていることを確認した。原因調査のため焼却炉を立ち下げた。

千歳清掃工場 <休炉2、停止2>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
31	1号炉	休炉	R5.12.13	13:41	R5.12.13	15:27	R5.12.18	15:04	R5.12.19	15:30	No.11スートブロワの稼働中にランスチューブが破損した。ボイラ内部に残った状態になったため、焼却炉を立ち下げた。
クレーン 3	2号ごみ クレーン	停止	R5.10.6	15:00					R5.10.19	11:00	2号ごみクレーンの2番シリンダーから油漏れが発生し、動作不良をおこしたため、ごみクレーンを停止した。
クレーン 2	2号ごみ クレーン	停止	R5.9.19	11:35					R5.9.29	14:15	2号ごみクレーンの6番シリンダーから油漏れが発生し、動作不良を起こしたため、ごみクレーンを停止した。
15	1号炉	休炉	R5.8.23	11:30	R5.8.23	15:14	R5.8.29	14:35	R5.8.30	14:36	給じんフィーダ(中)が故障し、ごみの供給が正常に出来なくなったため、焼却炉を立ち下げた。

墨田清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
29	1号炉	休炉	R5.11.29	11:00	R5.12.2	1:00	R5.12.5	13:45	R5.12.6	12:22	ボイラドラムレベル計水部側取出し配管のバルブフランジ部より蒸気漏れが発生した。漏れ箇所を補修するため、焼却炉を立ち下げた。
21	1号炉	休炉	R5.10.5	17:00	R5.10.6	13:00	R5.10.18	13:47	R5.10.19	11:14	No.1燃焼ストーカC・D下部ホツパが閉塞したため、焼却炉を立ち下げた。

新江東清掃工場 <休炉3、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
28	2号炉	休炉	R5.11.19	13:07	R5.11.19	13:37	R5.12.6	15:24	R5.12.7	14:00	2号炉の灰コンベヤ回転異常が発報した。電動機は回転しているが減速機の駆動軸が回転せず、灰コンベヤが稼働不可のため、焼却炉を立ち下げた。
11	2号炉	休炉	R5.6.28	9:30	R5.6.29	13:00	R5.7.20	18:54	R5.7.21	17:43	2号炉L側側壁部の炉体ケーシングから水漏れを発見した。調査するため、焼却炉を立ち下げた。
7	1号炉	休炉	R5.6.9	10:00	R5.6.9	17:00	R5.6.22	19:26	R5.6.23	18:35	1号炉主灰シュートの破孔を発見した。灰漏れ等が懸念されることから、補修するため、焼却炉を立ち下げた。

港清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
19	1号炉	休炉	R5.9.19	9:45	R5.9.19	11:00	R5.9.24	21:05	R5.9.25	10:19	誘引ファンから冷却吸収減湿塔への煙道(バイパスダンパ入口付近)に腐食による破孔があり、排ガスの漏れを確認したため、焼却炉を立ち下げた。

豊島清掃工場 <休炉3、停止2>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			発生日時	発生日時	立下日時	立下日時	立上日時	立上日時	復旧日時	復旧日時	
33	1号炉	休炉	R5.12.14	23:06	R5.12.15	0:57	R5.12.15	2:36	R5.12.15	10:01	燃焼用の空気流量が発信器の異常により制御できず、炉床温度が低下した。発信器のドレン抜きにより異常を解除し、ダンパ操作をしていたところ、ごみが一気に燃焼し炉内圧が高くなったため非常停止した。
タービン 4	タービン 発電機	停止	R5.10.17	16:00	R5.10.19	1:43	R5.10.19	14:00	R5.10.19	15:36	タービン立上げ完了後、タービン主蒸気流量計コンデンスポット入口フランジ部(下流側)より蒸気漏れを発見した。増し締めを行ったが漏れが止まらなかったためタービン発電機を停止した。
タービン 3	タービン 発電機	停止	R5.10.10	17:00	R5.10.17	1:47	R5.10.17	14:00	R5.10.17	15:21	点検時、タービン主蒸気流量計コンデンスポット入口フランジ部(上流側)より蒸気漏れを発見した。増し締めを行ったが漏れが止まらなかったためタービン発電機を停止した。
16	1号炉	休炉	R5.8.29	14:10	R5.8.29	17:51	R5.10.23	16:27	R5.10.24	4:05	1号炉の給じん不良が発生し、調査したところ、焼却炉へごみを供給する給じん機の2本のスクリーウのうち、1本が動力伝達用歯車の摩耗により、回転していなかった。ごみ供給が困難なため焼却炉を立ち下げた。
3	2号炉	休炉	R5.4.27	18:17	R5.4.27	22:30	R5.4.28	18:06	R5.4.29	2:22	18時17分頃、2号ろ過式集じん器ロータリーバルブ電気故障が発報した。現場でインテング及び正逆転操作で解除を試みたが復旧しなかったため、焼却炉を立ち下げた。

渋谷清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			発生日時	発生日時	立下日時	立下日時	立上日時	立上日時	復旧日時	復旧日時	
17	1号炉	休炉	R5.8.26	12:08	R5.8.29	19:20	R5.9.4	22:24	R5.9.5	14:10	不燃物排出装置で冷却水の通水異常が発生し、通水ラインの槌打や内部清掃等を実施したが改善しなかった。同装置の運転継続が不可能となり、焼却継続が困難となった。調査・補修のため焼却炉を立ち下げた。

中央清掃工場 <休炉5、停止2>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			発生日時	発生日時	立下日時	立下日時	立上日時	立上日時	復旧日時	復旧日時	
42	1号炉	休炉	R6.2.21	11:30	R6.2.21	14:20	R6.3.4	17:24	R6.3.5	16:41	1号炉2次過熱低減器注水口配管溶接部のピンホールにより、蒸気漏れがあり、漏れ箇所を補修するため、焼却炉を立ち下げた。
24	2号炉	休炉	R5.10.25	14:00	R5.10.27	11:23	R5.11.6	10:18	R5.11.8	13:24	灰クレーン故障に伴い、灰の搬出ができないため2号炉を立ち下げた。
23	1号炉	休炉	R5.10.25	14:00	R5.10.26	18:02	R5.11.3	10:29	R5.11.4	9:08	灰クレーン故障に伴い、灰の搬出ができないため1号炉を立ち下げた。
クレーン 4	灰 クレーン	停止	R5.10.25	14:00					R5.11.4	11:30	灰クレーン巻上電磁ブレーキの電磁コイルによる吸着が弱くなっており、巻上・巻下時でもブレーキライニングが接触しているため、灰クレーンを停止した。
13	1号炉	休炉	R5.6.29	11:00	R5.7.4	17:02	R5.7.7	16:04	R5.7.8	14:10	タービン入口蒸気止弁の二次側配管フランジより蒸気漏れがあった。タービン発電機を立ち下げ増し締めを実施し漏れ量は減少したが、漏れが継続していた。漏れ箇所を補修するため、焼却炉を立ち下げた。
タービン 2	タービン 発電機	停止	R5.6.14	14:30	R5.6.29	10:00	R5.6.29	12:03	R5.6.29	12:38	タービン入口蒸気止弁の二次側フランジより蒸気漏れを発見した。漏れ量が減少していたため経過観察としていたが止まらなかった。調査のため、タービン発電機を立ち下げた。
6	2号炉	休炉	R5.5.13	6:50	R5.5.13	15:32	R5.7.15	15:22	R5.7.18	17:53	ストーカ下コンベヤ故障警報が発報し、現場にてコンベヤの逆正転及び張り調整を実施したが復旧しなかった。調査のため蒸気タービン及び焼却炉を立ち下げた。(このまま定期点検補修工事に入る)

板橋清掃工場 <休炉7、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
45	1号炉	休炉	R6.3.29	18:00	R6.3.30	0:00					給じん装置の油漏れによりごみ送りが不安定となり、運転継続が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。また、ボイラの水質管理値に逸脱のおそれがあり、調査が必要であった。
43	2号炉	休炉	R6.3.12	15:00	R6.3.12	16:30					2号焼却炉周りで水漏れが見られた為、2号焼却を立ち下げた。調査の結果、給じん装置から水漏れを確認した。
41	2号炉	休炉	R6.1.29	10:50	R6.1.29	21:53	R6.2.1	15:16	R6.2.2	10:35	焼却炉から灰が排出されていなかった。調査のため、焼却炉を立ち下げた。
30	2号炉	休炉	R5.12.1	2:12	R5.12.5	14:30	R5.12.14	20:30	R5.12.15	15:04	洗浄塔レベル計の動作が不安定であり、調査・補修を行うため、焼却炉を立ち下げた。
26	1号炉	休炉	R5.11.12	5:00	R5.11.12	8:00	R5.11.22	15:28	R5.11.23	10:33	灰押し装置から主灰が排出されず、灰の搬出ができなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
25	2号炉	休炉	R5.11.7	11:00	R5.11.7	13:00	R5.11.16	15:45	R5.11.17	10:39	2号炉ボイラ下ダストコンベヤを点検したところ、灰が湿っていることを確認した。調査のため、2号焼却炉を立ち下げた。
4	2号炉	休炉	R5.4.30	2:30	R5.4.30	7:00	R5.5.16	15:35	R5.5.17	11:38	焼却炉から灰が排出されていなかった。調査のため、2号焼却炉を立ち下げた。

多摩川清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
14	1号炉	休炉	R5.7.24	16:40	R5.7.25	20:00	R5.8.9	14:00	R5.8.10	14:00	不適用クレーンバケットの開閉動作が不良となった。灰の搬出が行えなくなり、灰バンカへの貯留が困難となるため1号焼却炉を立ち下げた。

足立清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
38	1号炉	休炉	R6.1.18	16:25	R6.1.18	18:52	R6.1.24	14:58	R6.1.25	9:09	1号ろ過式集じん機下部のNo.1集じん機用パドルコンベヤが過負荷により停止した。同下部ホップレベル「H」警報が併せて発報しており、閉塞により灰が排出できないため1号焼却炉を立ち下げた。
37	2号炉	休炉	R6.1.3	9:21	R6.1.3	16:39	R6.1.5	15:46	R6.1.6	11:21	2号炉灰クレーン用巻上開閉制御盤内の電磁開閉器のサーマルリレーが働くとともに巻上インバータ・コンバータ異常が発報した。異常リセットができず灰クレーンの運転ができないため、2号焼却炉を立ち下げた。

品川清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
20	1号炉	休炉	R5.9.25	10:00	R5.9.29	15:00	R5.10.6	15:32	R5.10.7	14:19	ろ過式集じん器1室ホップに飛灰が堆積し排出されていないのを確認した。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
8	1号炉	休炉	R5.6.9	15:50	R5.6.9	17:20	R5.6.13	14:23	R5.6.14	13:53	左列給じんフィーダ渋滞が多発したため、現場制御盤にて前進後退操作を行ったが反応がなく、制御不能の状態であった。ごみ供給ができないと判断し焼却炉を立ち下げた。

葛飾清掃工場 <休炉2、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			発生日時	発生日時	立下日時	立下日時	立上日時	立上日時	復旧日時	復旧日時	
39	1号炉	休炉	R6.1.20	9:04	R6.1.20	9:04	R6.2.8	21:43	R6.2.9	14:54	給じん装置不調により助燃バーナー運転後、炉内圧力が安定せず炉内圧力上限により非常停止した。給じん装置復旧後、減湿水循環系統の配管の破損を発見したため、併せて補修を行う。
クレーン 5	2号ごみ クレーン	停止	R5.12.16	5:36					R6.1.13	16:00	No.2ごみクレーン故障警報が発報し、南東側横行車輪の軸受が破損していることを確認した。横行不能のため、No.2ごみクレーンを停止した。
18	1号炉	休炉	R5.9.15	20:00	R5.9.16	0:51	R5.9.19	19:36	R5.9.20	11:30	1号主灰排出装置下部シュートの点検時、不適物による閉塞及び主灰の堆積を確認した。主灰の排出が困難なため、焼却炉を立ち下げた。

世田谷清掃工場 <休炉7、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			発生日時	発生日時	立下日時	立下日時	立上日時	立上日時	復旧日時	復旧日時	
36	1号炉	休炉	R5.12.30	12:23	R5.12.31	0:45	R6.2.7	21:01	R6.2.8	12:20	流下口の耐火物が一部脱落し、チェーンリンクにぶら下がった耐火物が残った。除去の際にスラグカッタの先端が変形し、その後格納できなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
35	1号炉	休炉	R5.12.20	9:00	R5.12.20	20:04	R5.12.22	21:45	R5.12.23	10:20	不燃物等の詰まりのため、不燃物抜出装置内部の閉塞解除作業を行った。作業終了後、装置入口のガス化炉締切ゲートが開かなかったため、焼却炉を立ち下げた。
34	2号炉	休炉	R5.12.8	17:00	R5.12.17	10:00	R5.12.20	5:21	R5.12.20	18:13	ボイラ液面計元弁で蒸気漏れが発生した。蒸気漏れ分の補修のため焼却炉を立ち下げた。
27	2号炉	休炉	R5.11.18	14:12	R5.11.18	15:18	R5.11.21	21:57	R5.11.22	11:00	破碎ごみフラップダンパ上部でごみの渋滞が発生した。ダンパのアームのリンク部が破断して給じんできなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
22	1号炉	休炉	R5.10.13	17:04	R5.10.13	18:46	R5.10.24	14:37	R5.10.25	4:20	破碎ごみ搬送装置の過トルクが発生した。コンベヤチェーンの破断を確認したため焼却炉を立ち下げた。
12	1号炉	休炉	R5.7.5	16:25	R5.7.6	5:56	R5.9.14	22:23	R5.9.15	12:06	砂分級装置でトルクリミッターが作動し、機器停止した。正逆転運転で一時的に復旧したものの、正転しなくなり焼却継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。(このまま定期点検補修工事に入る)
5	1号炉	休炉	R5.5.5	10:15	R5.5.7	10:20	R5.5.14	17:36	R5.5.15	8:10	スラグカッターが破損し流下口下シュートにスラグが堆積して、焼却継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。

大田(新)清掃工場 <休炉1、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
			発生日時	発生日時	立下日時	立下日時	立上日時	立上日時	復旧日時	復旧日時	
クレーン 1	2号ごみ クレーン	停止	R5.7.11	19:43					R5.8.1	16:00	2号ごみクレーン重故障が発報した。現場確認したところ、バケット用給電ケーブルが破断しているのを確認した。バケットの開閉が出来なくなったため、格納した。
2	1号炉	休炉	R5.4.18	9:46	R5.4.18	15:34	R5.5.22	16:14	R5.5.23	6:37	1号灰コンベヤ故障(瞬時過電流)が発報した。現場確認したところ、コンベヤチェーンが破断しているのを確認した。灰の搬出が出来なくなったため、焼却炉を立ち下げた。

大田第一清掃工場 <休炉2、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
44	2号炉	休炉	R6.3.28	9:35	R6.3.28	13:56	R6.3.29	20:35	R6.3.30	15:45	灰搬出コンベヤ1に灰が堆積・閉塞し、運転不能となった。灰の搬出が不可能となったため、焼却炉を停止した。
32	3号炉	休炉	R5.12.13	14:31	R5.12.13	18:10	R5.12.18	20:42	R5.12.19	12:06	灰搬出コンベヤ2で故障が発報した。現場確認したところ、コンベヤチェーンが破断しているのを確認した。灰の搬出が出来なくなったため、運転中の3号炉を立ち下げた。

練馬清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
40	1号炉	休炉	R6.1.23	15:03	R6.1.23	16:05	R6.2.2	19:09	R6.2.3	15:16	排ガス洗浄処理装置リレー盤内の出入力伝送装置用の電源が喪失し、洗煙設備の各種ポンプが停止したため、洗煙設備バイパスとなった。復旧の見込みが立たず、運転継続は困難と判断し焼却炉を立ち下げた。

杉並清掃工場 <休炉2、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
10	2号炉	休炉	R5.6.22	6:19	R5.6.22	6:19	R5.6.23	12:36	R5.6.24	5:22	タービン蒸気加減弁が全開となり、タービン発電機がトリップし、2号炉ボイラ液面が下限を発報したことにより、2号炉が自動停止した。
9	1号炉	休炉	R5.6.22	6:19	R5.6.22	6:19	R5.7.20	15:16	R5.7.21	20:23	タービン蒸気加減弁が全開となり、タービン発電機がトリップし、1号炉ボイラ液面が下限を発報したことにより、1号炉が自動停止した。(このまま中間点検に入る)
タービン 1	タービン 発電機	停止	R5.6.22	6:18	R5.6.22	6:18	R5.6.24	11:15	R5.6.24	12:20	アイソレータ(直流入力変換器)が故障し、誤った信号が蒸気タービン発電機電子ガバナに入力されたため、タービン蒸気加減弁が全開となり、タービン入口蒸気圧力下限が発報し、タービン発電機がトリップした。

光が丘清掃工場 <休炉0、停止0>

目黒清掃工場 <休炉0、停止0>

中防灰溶融施設 <停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
クレーン (1)	1号主灰 クレーン	停止	R5.9.21	11:00							巻上コンバータ・インバータ異常によりクレーンが停止した。調査の結果、巻上コンバータの絶縁不良が原因であった。

令和5年度 清掃工場 故障による休炉45 件、クレーン停止 6 件、タービン停止 4 件
 令和4年度 清掃工場 故障による休炉 51 件、クレーン停止 6 件、タービン停止 1 件
 令和3年度 清掃工場 故障による休炉 55 件、クレーン停止 4 件、タービン停止 2 件
 令和2年度 清掃工場 故障による休炉 62件、停止 12件
 令和元年度 清掃工場 故障による休炉 49件、停止 32件